

滑川市生涯スポーツラン

H28年度 ~ H37年度



ご あ い さ つ

滑川市長 上 田 昌 孝

「滑川市生涯スポーツプラン」を平成18年度に策定し、平成22年度にはその見直しを行うなど、「生涯スポーツ社会の実現」を目標とした各種スポーツ振興に努めてまいりました。

また、平成25年度には念願でありました滑川市スポーツ・健康の森公園が完成し、多くの市民の皆様にご利用いただくことで、「健康寿命延伸都市」の実現に向けて、大きく寄与していることと考えています。

国において「スポーツ基本計画」が策定され、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催が決定し、平成27年に「スポーツ庁」が新設されるなど、スポーツを取り巻く環境は大きく変化しています。一方、少子高齢化の進行、コミュニティ意識の希薄化など地域の課題も顕在化しており、本市においてもそうした課題解決に向けて努めているところです。

スポーツは、人間のこころとからだの健全な発達を促すとともに、明るく豊かで活気に満ちた、生きがいのある社会の形成に寄与するものとして、大変重要であり、その効果が期待されているところです。

このため、本市において、新しい「滑川市生涯スポーツプラン」を策定し、新たに指針を打ち出すことは、誠に意義深いことと考えています。本プランでは「スポーツを通じて市民の誰もが健康で活躍できる『ひと』『まち』『産業』が元気なまち滑川」の実現を基本理念として、「市民一人1スポーツの推進」「健やかな子供の育成」「全国や世界で活躍できる選手の輩出」「スポーツに親しむことのできる環境の整備」の4つの基本目標をもとに各種施策を推し進めることとしています。

本プランに基づき、市、教育機関をはじめ関係団体が協力し、生涯スポーツ社会・健康寿命延伸都市の実現に、努めてまいりたいと考えています。

本プランの策定にご協力いただきました滑川市スポーツ振興審議会委員の皆様、各スポーツ関係団体、学校関係者など、多くの皆様に心から感謝申し上げます。

目 次

第1章 プランの策定にあたって

- | | | |
|---|----------|---|
| 1 | プラン策定の趣旨 | 1 |
| 2 | プランの性格 | 2 |
| 3 | プランの計画期間 | 2 |

第2章 プランの基本的な方向

- | | | |
|---|--------|---|
| 1 | 基本理念 | 3 |
| 2 | 目標 | 3 |
| 3 | プランの体系 | 4 |

第3章 スポーツ推進の具体的施策

- | | | | |
|---|--------|---------------------|----|
| 1 | 基本目標 1 | 市民一人1スポーツの推進 | 5 |
| 2 | 基本目標 2 | 健やかな子供の育成 | 11 |
| 3 | 基本目標 3 | 全国や世界で活躍できる選手の輩出 | 15 |
| 4 | 基本目標 4 | スポーツに親しむことのできる環境の整備 | 18 |

<参考>

「平成27年度滑川市スポーツに関する意識調査」

「滑川市生涯スポーツプラン」策定までの経緯

滑川市スポーツ振興審議会委員名簿

第1章 プランの策定にあたって

1 プラン策定の趣旨

滑川市では、平成18年、生涯にわたり、スポーツ・レクリエーション活動を通して、健康で明るい充実した生活を営み、活力ある地域社会をつくりだす「生涯スポーツ社会」の実現に向け「滑川市生涯スポーツプラン」を策定し、平成22年に見直しをはかり、平成23年策定の第4次滑川市総合計画と関連づけ、スポーツの振興に努めてきました。

プラン策定から10年が経過し、市民の生涯スポーツへの関心の高まりと共に、スポーツの実施の二極化、少子高齢化の進行、スポーツニーズの多様化や念願であったスポーツ・健康の森公園の完成など、市民を取り巻くスポーツ環境も大きく変化してきました。

国において「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定され、市では平成27年10月に「滑川市ひと・まち・産業（しごと）創生総合戦略」を策定し、国、県、市において、人口減少の克服など、今後、地方創生に向けた動きが加速することが予想されます。

こうした動向をふまえ、幼児から高齢者まで市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、目的や能力、好みに応じて、主体的・自主的にスポーツ・レクリエーション活動を継続的行なうことができる「生涯スポーツ社会」を目指し、生涯にわたり、健康で明るい充実した生活を営み、活力ある地域社会をつくりだす「健康寿命延伸都市」の実現に向けて、長期的な計画に基づき、本市スポーツ振興の目標と方策を定める新しい「滑川市生涯スポーツプラン」を策定するものです。

2 プランの性格

この計画は、平成 23 年度、文部科学省により策定された「スポーツ基本計画」及び平成 24 年度に富山県教育委員会により策定された「元気とやまスポーツプラン」を踏まえ、「第 4 次滑川市総合計画」「滑川市ひと・まち・産業(しごと)創生総合戦略」をはじめとする関連計画との整合性を図りながら、「健康寿命延伸都市」を目指し、市民の誰もが健康で活躍でき、生涯にわたってスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現する施策の基本的な方向性を示すものです。

3 プランの計画期間

この計画は、平成 28 年度（2016 年度）から平成 37 年度（2025 年度）までの 10 年間で計画期間とします。

本計画に基づく施策の実施に際しては、社会情勢の変化等に適切に対応するため、適宜その進捗状況の把握に努め、5 年を目処に計画の見直しを図るものとしします。



第2章 プランの基本的な方向

1 基本理念

スポーツを通じて市民の誰もが健康で活躍できる
「ひと」「まち」「産業」が元気なまち滑川

2 目標

生涯スポーツ社会・健康寿命延伸都市の実現

それぞれの体力や年齢、目的に応じて、いつでも、どこでも、だれもが主体的にスポーツに親しむことができる社会の実現を継続して目指すことは重要であり、また、少子高齢化が進む中、健康・体力づくり等の推進とともに「健康寿命延伸都市」の実現も同時に求められています。

「滑川市ひと・まち・産業（しごと）創生総合戦略」が、平成27年度策定され、「ひと」「まち」「産業（しごと）」の創生と好循環の確立を目指しています。「ひと」が健康となり、活気に満ちた元気な「まち」の創出のために、スポーツが大きな役割を担っており、市民の誰もが健康で活躍でき、生涯にわたってスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現に向けて、各種施策を推進していきます。

3 プランの体系

基本理念

スポーツを通じて市民の誰もが健康で活躍できる
「ひと」「まち」「産業」が元気なまち滑川

目 標

生涯スポーツ社会・健康寿命延伸都市の実現

基本目標

具体的な主な施策

1. 市民一人
1スポーツ
の推進

- ・スポーツ参加の機会づくりの推進
- ・「観る・支える」スポーツの推進

目標指標

スポーツ実施率

2. 健やかな子
供の育成

- ・運動好きな子供の育成と体力向上への取組
- ・スポーツ少年団・運動部活動活性化の支援

目標指標

体力テスト全国・県平均を上回った種目数

3. 全国や世界
で活躍でき
る選手の輩
出

- ・トップアスリート育成への支援
- ・指導者の育成への支援

目標指標

オリンピック出場者数

4. スポーツ
に親しむこ
とのできる
環境の整備

- ・スポーツ施設活用の促進
(スポーツ・健康の森公園を拠点として)
- ・スポーツ合宿等によるスポーツ施設の活用

目標指標

スポーツ・健康の森公園の利用者数

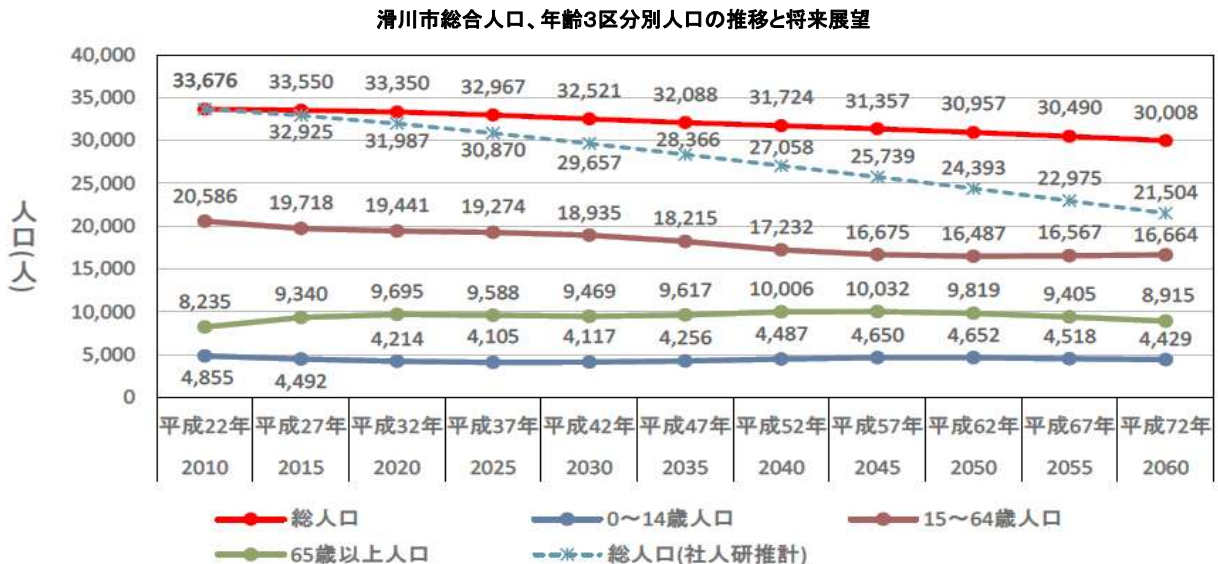
第3章 スポーツ推進の具体的施策

基本目標 1 市民一人1スポーツの推進

現状と課題

1、少子高齢化

「滑川市人口ビジョン」では、平成 72 年の人口 30,000 人を目指していますが、平成 37 年の人口は 32,967 人で、その後も人口減少傾向が続くと予測されています。15～64 歳においては減少が顕著で、それに次いで、0～14 歳も減少傾向にあり、今後もこの傾向が続くと予測されています。一方で、65 歳以上の高齢者の人口比は増加傾向にあり、平成 37 年度には 9,588 人と予想され、構成比で総人口の約 29.0%になると予想されます。



<参考> 滑川市「健康寿命」について

(「滑川市ひと・まち・産業(しごと)創生総合戦略」より)

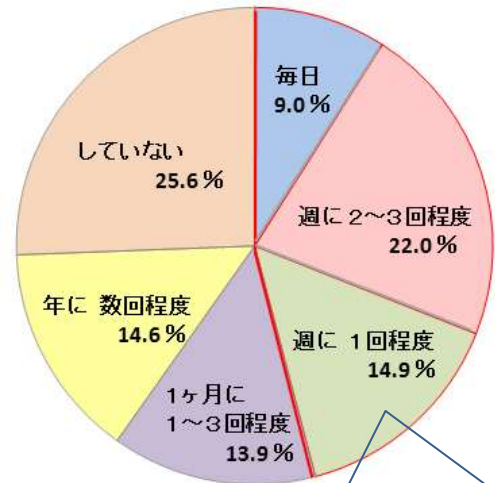
現状	目標値(平成31年度)
男 78.10 歳(平成 24 年度)	男 78.50 歳
女 83.07 歳(平成 24 年度)	女 83.50 歳

2、スポーツの実施状況

本市における成人の週1回以上のスポーツ実施率は、平成27年に実施した「スポーツに関する意識調査」によると45.9%で、平成21年度調査結果の27.8%を大きく上回り、国の40.4%、県の38.9%も上回りました。年代別に見ると、60代、70代のスポーツ実施率は50%を超えて高い傾向にあります。一方で「していない」数も多く、20代から40代でも二極化の傾向にあります。スポーツを促すための一層の取組が求められます。

実施種目では、「散歩・ウォーキング」が29.2%で全体の約3割と一番高く、「ジョギング・ランニング」の7.4%を含めると36.6%となり「歩く、走る」で約4割を占め、身近にできる運動が行われています。

【運動・スポーツの実施状況】



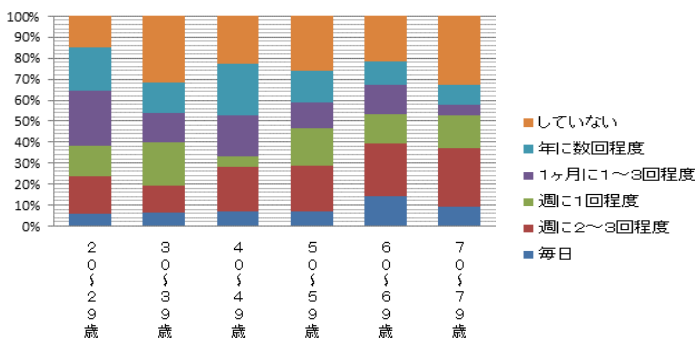
スポーツ実施率 45.9%

(成人、週1回以上のスポーツの実施率)

滑川市 27.8% (H21)

富山県 38.9% (H26)

全国 40.4% (H27)



【実施種目】



3、総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブ「なめりCANクラブ」は平成16年に設立され、幼児から高齢者まで総合体育センターを拠点とし、市の支援を受けながら運営を進め、年間を通じて様々な

【なめりCANクラブの会員数】

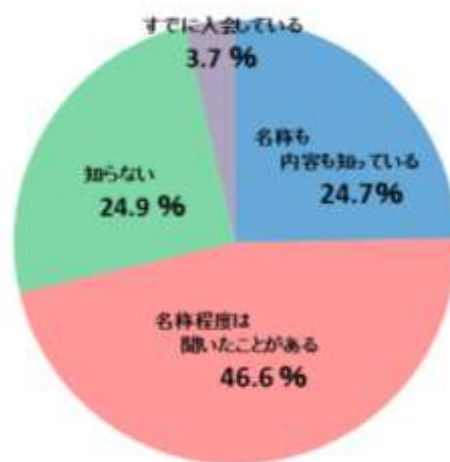


スポーツ教室やイベント活動を展開しており、会員数は平成 26 年現在 486 名です。

一方、設立 11 年目を迎えた現在でも「なめり CAN クラブ」を「知らない」という人が 24.9% であることから、今後、より一層の周知が必要であり、財源、指導者の確保など自主運営に向けて課題が残る状況です。

地域スポーツ活動の中心となる総合型地域スポーツクラブの展開を視野に、スポーツ関係団体とも連携し、会員数の増加を図るとともに、広く市民に親しまれるクラブの育成・定着に向けた支援が必要です。

【なめりCANクラブについて】



4、スポーツボランティア

平成 22 年 8 月に示された「スポーツ立国戦略」や平成 24 年 3 月に策定された「スポーツ基本計画」、同年 4 月に策定された県の「元気とやまスポーツプラン」では、「する」スポーツに加え、「観る」、「支える」スポーツが加えられ、スポーツボランティアの位置づけが重要となっています。

滑川市ではスポーツボランティアへの参加状況は高いとはいえません。スポーツ活動を行う上で、スポーツボランティアの必要性、重要性を啓発し、人材の発掘に努める必要があります。

具体的な主な施策

1、市民一人 1 スポーツの推進

(1) スポーツ参加の機会づくりの推進

①参加・活動機会の拡充



ウォーキングイベント

○ウォーキングは身近に実施することができ、本市の運動種目別の実施率も一番高いことから、運動の習慣化に向けて、歩こう会や総合型地域スポーツクラブ等と連携し、ラジオ体操をはじめ身近に行うことのできるスポーツ・運動の機会を市体育協会や関係団体と連携し、体験会等の提供に努めます。

○20代～40代のスポーツ実施率の低い世代がスポーツ・運動に親しむことができるように、若者向けのスポーツの啓発活動、親子や三世代でできる運動の機会の提供、企業等でのスポーツの推進等、関係団体と連携して、運動の日常化やスポーツに親しむきっかけづくりに努めます。

○高齢者が体力に応じて身体的活動を行うことの習慣づくりに向けて、市の福祉関係課、総合型地域スポーツクラブと連携し、長寿いきいき広場、いをのみ公園等において、「うんどう教室」を行うなど機会づくりに努めます。

○女性が積極的にスポーツに取り組み、子育て期の女性のスポーツへの参加が、子供や家族の運動意欲の向上につながることも期待でき、スポーツ人口のすそ野を広げることにもつながることから、親子教室や女性同士が参加できる運動教室の開催など参加機会の拡充を推進します。



朝のつどい(ラジオ体操)

○運動不足におちいりがちな冬季のスポーツ運動の促進に努めます。

②総合型地域スポーツクラブの活動の充実

○総合型地域スポーツクラブの各スポーツ教室が、市民の様々なニーズに応じた魅力ある教室となるよう、指導者やスタッフの確保、内容や実施時間の工夫等、運営へ



なめり CAN クラブの教室

の支援に努めます。

- 総合型地域スポーツクラブが市民の継続的なスポーツ活動の場となるよう、スポーツ関係団体、地区公民館、学校等と連携できるように支援します。

③障がい者スポーツのすそ野の拡大

- スポーツ関係団体が連携協力し、地域において障がいのある人ができるスポーツの交流会など、障がいのある人もない人も一緒に、運動・スポーツに取り組む機会づくりに努めます
- 地域において障がい者スポーツの支援ができるスポーツ指導員の養成を関係機関と連携して推進し、障がい者スポーツの普及に努めます。

(2)「観る・支える」スポーツの推進

①「観るスポーツ」の推進

- ほたるいかマラソン等、市内で行われるスポーツ大会や県内で行われるトップレベルの試合を応援する機会が増加するよう、関係団体と連携して、積極的な情報の提供に努めます。



ほたるいかマラソン

- 本市出身や本市にゆかりのあるスポーツ選手が活躍する国際大会等を市民に広く情報提供することで、トップアスリートを応援する機運を醸成するとともに、スポーツを楽しむ機会づくりに努めます。

②スポーツボランティアの推進

- 本市最大のスポーツイベントである、ほたるいかマラソンを運営側で支えるスポーツボランティアを広く公募し、活動内容を市民に伝える広報活動も奨励し、スポー

ツボランティアのすそ野を広げる活動を推進します。

- 運動が苦手な方や高齢者の運動への関心を高めるために、スポーツ推進委員協議会やスポーツ少年団、スポーツ関係団体等と連携をはかり、身近なスポーツ・運動の応援や見学などスポーツに関わることへの啓蒙活動を促進し、スポーツを支える人材のすそ野の拡大に努めます。
- スポーツボランティア養成のための研修会や講座等を体育協会等と連携して開催し、スポーツボランティアの発掘、育成に努めます。

③スポーツ推進委員協議会の活動支援

- 地域スポーツ指導者として、スポーツに関する技術指導や助言など、スポーツの普及拡大のためのスポーツ推進委員協議会の活動を支援します。



スポーツ推進委員ニュースポーツ研修会

- スポーツ推進委員の資質向上を図る研修会の実施や、県等の主催する研修会への派遣などを積極的に支援します。
- 地域コミュニティの発展、スポーツ推進コーディネーターとして、地区公民館や総合型地域スポーツクラブ、住民との連携を支援します。

指 標	現況 (平成 27 年度)	平成 32 年目標	平成 37 年目標
スポーツ実施率 週 1 回以上スポーツをする成人の割合	45.9%	50.0%	60.0%

現状と課題

1 幼児期の運動

幼児期において、体を動かす遊びを中心とした身体活動を十分に行うことは、基本的な動きを身に付けるだけでなく、運動に親しみ、意欲的に体を動かす子供の育成につながり、生涯にわたって健康を維持し、積極的に運動



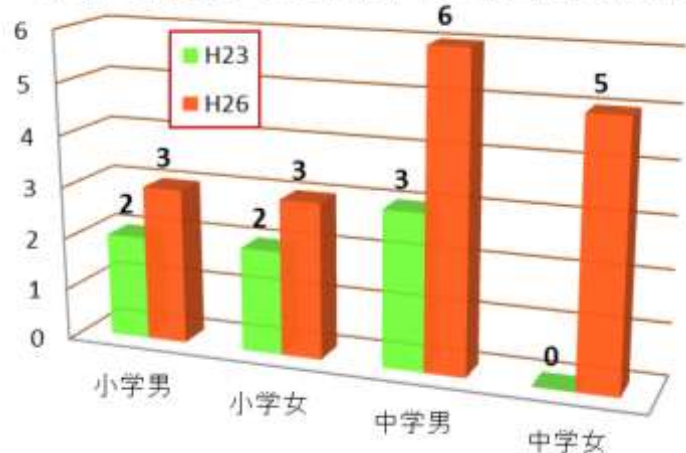
幼児期の運動教室

を行い、豊かな人生を送るための基盤作りとなります。一方で、社会環境や生活様式の変化から、幼児期に体を動かして遊ぶ機会が減少しており、本市では平成 24 年から文部科学省の委託を受けて「幼児期の運動促進に関する普及啓発事業」を実施し、調査研究会による協議、幼稚園や保育所・園の職員対象の指導者講習会、保護者へ運動の啓発、幼児への運動教室等に取り組んでいます。

2 子供の体力

本市では平成 23 年度から、子供の体力向上を目的に「子供の体力向上事業」を行っており、各小中学校の体力向上推進員を中心に、それぞれの学校で体力向上の取り組みを工夫して実施しています。ま

体力テストにおいて全国・県平均を共に上回った種目の数



た、体力テストの結果の分析や情報交換を行い、各学校での実践にいかし、体力は全体的に向上してきています。一方で、学校や各学年での結果が異なるので、それぞれでの分析を行い、実態に応じた対応が重要であり、児童・生徒が自ら遊びや運動の中で、走る・跳ぶ・投げるといった運動を総合的に実施できるような支援が求められます。

3 スポーツ少年団・運動部活動

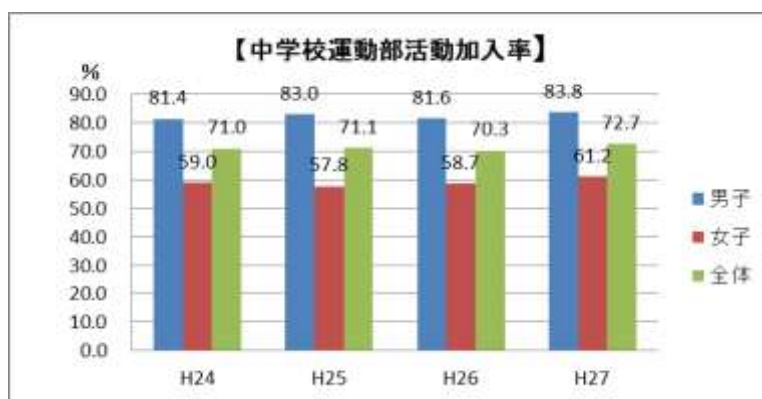
スポーツ少年団の活動は、児童の運動能力・体力の向上や異年齢集団によるコミュニケーションや対人関係の構築など児童の健全育成に大きく寄与するものです。本市では平成27年度、23団体9種目（軟式野球、サッカー、ミニバスケットボール、剣道、柔道、空手、卓球、陸上競技、ソフトテニス）のスポーツ少年団が活動しており、小学校4年生から6年生までの加入率は約34.1%となっています。各少年団の活動の他に、市民スポーツフェスタやスポーツ少年団交流駅伝大会等において、少年団相互の交流も実施しています。少子化や保護者の意識の多様化により、加入者が減少傾向にある少年団もあることから、児童や保護者の実態やニーズに応じた運営が求められています。

スポーツ少年団の加入率(小4～小6)		
平成18年	平成22年	平成27年
40.2%	36.3%	34.1%



スポーツ少年団交流駅伝大会

運動部活動は、スポーツに興味と関心をもつ同好の生徒が、教員等の指導の下に、自発的自主的にスポーツを行うもので、より高い技能の習得や記録に挑



戦する中で、運動やスポーツの喜び、楽しさを味わい、異年齢集団での活動により、人と人との関わり方の大切さを学び、学校生活に豊かさをもたらす重要な役割を担っています。

本市の中学校での運動部活動の加入率は、近年、ほぼ横ばいとなっていますが、少子化に伴う生徒数の減少により、教員数が減少した結果、顧問として指導経験のない競技を担当するケースも出てきていることから、生徒のスポーツへの意欲・関心を一層高めるため、今後も多様なニーズに応じた活動の工夫が求められています。

具体的な主な施策

2、健やかな子供の育成

(1)運動好きな子供の育成と体力向上への取組

①幼児期からの運動の普及啓発の推進

- 幼稚園や保育所・園と小学校、家庭、地域において、幼児や児童が自ら進んで身体を使った遊びを、多くの友達とかかわりながら楽しみ、多様な動きを経験できるよう、指導員等の指導による遊びの環境の充実に努めます。
- 保護者が幼児期の発育・発達における運動遊びの重要性を認識、理解できるように、親子による運動遊び教室の開催や情報の発信等啓蒙活動に努めます。
- 幼稚園や保育所・園と小学校との情報交換や指導者講習会等、連携した取組を推進します。

②学校における体力向上への取組の推進

- 各学校における体力向上の取組を一層推進できるように、業間の時間を活用した遊び・運動や体育の授業での体力づくり運動等を継続すると共に、情報交換を促進し、教材・教具の活用や工夫などを支援します。
- 児童・生徒が自分の身体の発育・発達や体力について学び、自ら進んで遊びや運動ができるように、学校、市体育協会、関係団体が連携し、地域のスポーツ人材を学校の授業に派遣するなど、正しい知識の獲得や様々な遊びや運動に挑戦できるように支援します。



元プロ選手によるスポーツ教室

(2)スポーツ少年団・運動部活動活性化の支援

①スポーツ少年団活動への支援

- スポーツ少年団の全国大会や北信越大会等への出場を支援します。

○心身の健全育成と児童の発達段階を踏まえた育成指導のため、スポーツ少年団指導者を対象とした研修会や講習会の実施を推進します。

○児童の技術と意欲の向上のため、優秀なスポーツ指導者を招いてのスポーツ教室の開催等の機会づくりに努めます。

○スポーツ関係施設の児童生徒のスポーツ活動への使用料無料化により活動を支援します。

*小中学生のスポーツ活動の活性化及び保護者の負担軽減を図るため、体育・文化施設等利用を無料化

②中学校部活動への支援

○県の「スポーツエキスパート派遣事業」の活用や市体育協会、スポーツ関係団体や地域と連携し、運動部活動へ地域スポーツ指導者の派遣を推進し、活動を支援します。



中学校運動部合同トレーニング教室

○生徒の多様なニーズに応える複数校による合同部活動の取組など、各学校の実情に合わせた運動部活動を支援します。

○運動部活動の全国大会や北信越大会等への選手派遣を支援します。

○生徒の発達段階に応じた指導と運動部活動を通じて、相手を尊重するスポーツマンシップを育む指導の充実に努めます。

○中学校体育連盟や県・市体育協会と連携し、スポーツ科学・医学を活用した研修の機会を推進し、教員をはじめとする部活動指導者の指導力や資質向上に努めます。

指 標	現況(平成 27 年度)	平成 32 年目標	平成 37 年目標
体カテスト全国・県平均を上回った種目数 小中学校男女それぞれの全体平均が 8 種目中	2 種目 (H26)	6 種目	8 種目 (全種目)

現状と課題

1、競技力向上

本市出身の谷井選手が陸上競技の世界選手権男子 50 キロ競歩で銅メダルを獲得し、多くの市民に感動を与え、リオデジャネイロ五輪でのメダルも期待されるなど、本市にゆかりのあるトップアスリートがプロスポーツや国際大会、全国大会で活躍しています。



世界陸上銅メダル谷井選手(表敬訪問)

2020年の東京五輪に本市出身又はゆかりのある選手が出場することは、市民に、夢や希望、勇気を与えることにつながることから、将来のオリンピック選手の育成に向けて、本市のジュニア選手の競技力向上を目指し、全国大会で活躍できるように、市体育協会や中学校体育連盟へ強化育成費の補助を行い、選手の強化や育成を支援します。

2、スポーツ指導者の確保・育成

競技力の向上・維持には、優秀な指導者の確保が重要であり、指導者を育成することが底辺を拡大することとなり、競技力向上にもつながります。本市では、長年、選手育成に実績のある指導者層が高齢化しており、各競技において専門的な指導力と人格にすぐれた指導者の養成が求められています。

具体的な主な施策

3、全国や世界で活躍できる選手の育成

(1) トップアスリート育成への支援

① トップアスリートを招いた指導や競技団体との連携強化

○日本サッカー協会との連携による「夢の教室」の開催等、児童生徒がトップアスリ

ート等と対面し、講話・授業や実技指導を受けることにより、将来の夢や目標を具体的に持つきっかけとなる機会づくりを促進し、精神面での向上に努めます。



オリンピックによる夢の教室

○全国大会等に出場するチームや選手が、優秀な成果を収めるため、専門的

指導者やトレーナーの派遣などの支援を、競技団体等と連携し推進します。

② 将来を見据えた一貫指導体制の充実

○スポーツ競技団体において、今まで培った指導方法を基盤にした、長期的な展望に立った一貫指導体制作りの支援に努めます。



トレーニングスクール

○競技力向上に向け、ジュニア期における多種目のスポーツ実施など、市体育

協会、スポーツ関係団体や総合型地域スポーツクラブとの連携・交流を支援します。

○中学校部活動の引退後から高等学校進学までのトレーニングのブランクを補い、基礎的な体力の向上、栄養学、総合的なトレーニングのサポート体制の充実に努めます。

○優れた素質を有するジュニア世代選手の早期発掘と関係団体との情報共有に努めます。

③スポーツ団体の育成支援

- 体育協会及びスポーツ関係団体が、自主的に活動・展開ができるよう組織の充実、強化に対する支援を行うとともに、競技力の向上に向けて、普及拡大を図るため、各種スポーツ団体相互の連携・協力を支援し、健全育成に努めます。

(2)指導者の育成への支援

①スポーツ関係団体への支援

- 市民スポーツ大学の開催等、県内外の優秀指導者を招聘し、スポーツ指導者を対象とした研修会や講習会への参加機会の提供に努めます。
- 各競技団体における公認指導者や有資格者の登録を促進し、優秀な指導者の発掘を図るとともに、指導者の資質向上のための、国や県等が開催する講習会や研修会の情報提供に努めます。

指 標	現況(平成 27 年度)	平成 32 年目標	平成 37 年目標
オリンピック出場者数 滑川出身又はゆかりのある選手のオリンピック出場者数	1人 (ロンドン五輪)	3人 (東京五輪)	4人 (H36 五輪)



現役トップアスリートによる指導(三宅氏親子)



著名指導者による指導(宇津木氏)

基本目標 4 スポーツに親しむことのできる環境の整備

現状と課題

1 滑川市スポーツ・健康の森公園

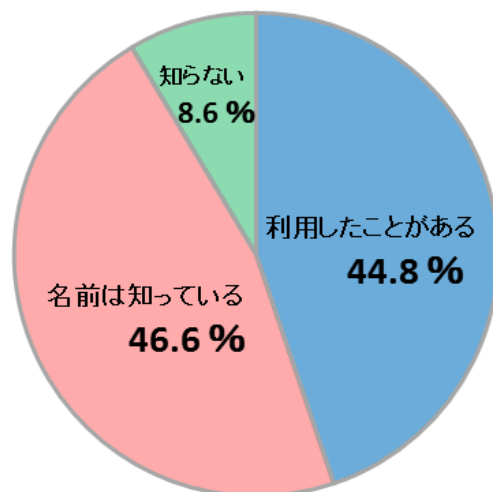
市民の誰もがスポーツ・レクリエーションを楽しみ、健康づくりや体力づくりのできるアウトドアスポーツの総合拠点として、平成25年度に滑川市スポーツ・健康の森公園が完成し、これまで「特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」、「滑川市民体育祭」、「滑川ほたるいかマラソン」等の大きなスポーツイベントが開催されたほか、早朝から夕方までランニング走路や陸上競技場でジョギングやウォーキングを楽しむ人や、休日には、多目的芝生広場やこども元気広場で親子で遊ぶ姿が見られるなどにぎわいを見せています。

「スポーツに関する意識調査」では「利用したことがある」は44.8%と約半数で、一層の利活用を促す取組が求められます。



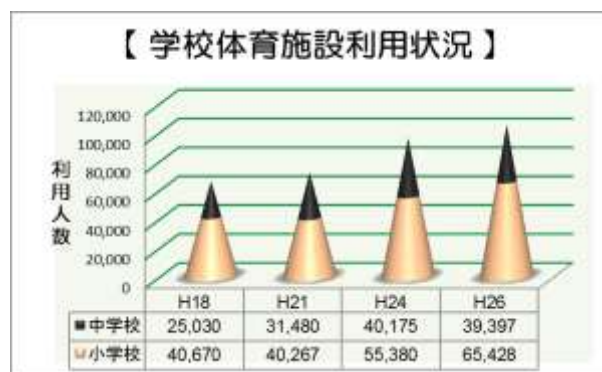
滑川市スポーツ・健康の森公園

【スポーツ・健康の森公園の利用】



2 スポーツ施設の利用

市内のスポーツ施設や学校体育施設開放事業による利用者数は増加傾向にあり、平成26年7月からスポーツ少年団、運動部活動の施設利用の無料化を実施し、施設を有効に



活用することで、競技力向上への一役を担っています。

一方で、スポーツ施設の充実に比してスポーツ合宿等のための施設整備は十分とはいええず、合宿施設等の整備が課題となっています。



主なスポーツ施設	
総合体育センター	体育館、柔道場、剣道場、相撲場、弓道場、ホッケー場、トレーニング室、室内走路
スポーツ・健康の森公園	陸上競技場、サーキットトレーニング場、多目的芝生広場、多目的グラウンド、長寿いきいき広場、子ども元気広場、ランニング走路
フットボールセンター富山(日医工スポーツアカデミー)	人工芝フィールド 2 面、クラブハウス、体育館、セミナーハウス
みのわテニス村	砂入り人工芝コート 5 面、クレーコート 9 面
下梅沢テニスコート	砂入り人工芝コート 4 面
市営野球場	本丸野球場、堀江野球場、有金野球場
パークゴルフ場	27 ホール、ファミリーコース
ゲートボール場	屋内 2 コート、屋外 4 コート

具体的な主な施策

4. 市民がスポーツに親しむことのできる環境の整備

(1) スポーツ施設活用の促進

① スポーツ・健康の森公園の活用促進

- 市体育協会や関係団体と連携し、スポーツイベントや運動教室等を開催し、市民の利活用を推進します。
- 多目的グラウンドを活用して、市内外



投てき合同練習会(多目的グラウンド)

の投てき選手を招聘しての練習会等を開催するなど、活用を促進するとともに競技の普及支援に努めます。

②施設の利活用の充実と整備

- 市民の誰もがいつでも気軽に健康・体力づくりに励むことができるように、ウォーキングコースを活用したイベント等の充実や運動公園のさらなる充実、屋内練習場の整備を目指します。
- 既存のスポーツ施設の利活用の促進を図るとともに、利用者の利便性向上や施設の長寿命化について、計画的に整備を推進し、スポーツ環境の更なる向上を目指します。

(2)スポーツ合宿等によるスポーツ施設の活用

- 東京オリンピック・パラリンピックの合宿誘致や各種競技団体、大学等による合宿での利活用を促進するために、スポーツ合宿施設の整備、充実に努めます。
- 東福寺野自然公園研修センター(青雲閣)、みのわテニス村等、既存の施設を活用した、市内外のスポーツ団体や学校の部活動におけるスポーツ合宿での利活用の促進に努めます。

指 標	現況(平成27年度)	平成32年目標	平成37年目標
スポーツ・健康の森公園の利用者数	48,970人 (H26)	55,000人	60,000人



東福寺野自然公園



みのわテニス村

＜参考＞

「平成 27 年度滑川市スポーツに関する意識調査」

1 目 的

健康寿命延伸都市を目指す滑川市において、生涯スポーツ社会の実現に向けて、スポーツ推進、事業計画等の指針とすることを目的とする。

2 調査内容

- (A)運動・スポーツに関する意識
- (B)運動・スポーツの実施状況
- (C)地域の運動・スポーツへ参加
- (D)スポーツ・健康の森公園について
- (E)スポーツボランティアについて
- (F)スポーツ観戦について
- (G)スポーツに関する情報について
- (H)総合型地域スポーツクラブについて
- (I)スポーツ活動の推進について

3 調査期間

平成 27 年 7 月 1 日 ～ 7 月 21 日

4 対 象 者

年齢別無作為抽出による市民 1,000 名（20 代～70 代の男女）

5 調査方法

郵送返送方式(返信は後納郵便を使用)

6 回 収 先

滑川市教育委員会 スポーツ課

7 回 収 率

- (1) 標本数 1,000 (100.0%)
- (2) 回収数 415 (41.5%)
 - 男性 198 (47.7%) 女性 217 (52.3%)

滑川市生涯スポーツプラン策定までの経緯

年 月 日	場 所	議題・案件事項等
平成 26 年 11 月 19 日	滑川市役所 東別館三階 中会議室	平成 26 年度 第 1 回滑川市スポーツ振興審議会 滑川市教育委員会から滑川市スポーツ振興審議会に 「滑川市生涯スポーツプラン」の策定について諮問
平成 27 年 2 月 23 日	滑川市役所 東別館三階 中会議室	平成 26 年度 第 2 回滑川市スポーツ振興審議会 「滑川市生涯スポーツプラン」の策定について 「スポーツに関する意識調査」の調査内容について
平成 27 年 7 月 1 日 ～7 月 21 日		「スポーツに関する意識調査」の実施
平成 27 年 11 月 26 日	滑川市役所 東別館三階 中会議室	平成 27 年度 第 1 回滑川市スポーツ振興審議会 「スポーツに関する意識調査」の調査内容について 「滑川市生涯スポーツプラン」(案)について
平成 28 年 1 月 25 日 ～2 月 5 日		「滑川市生涯スポーツプラン」(案)について審議委 員による検討
平成 28 年 2 月 16 日 ～3 月 8 日		「滑川市生涯スポーツプラン」(案) のパブリック・ コメント実施
平成 28 年 3 月 17 日	滑川市役所 東別館三階 中会議室	平成 27 年度 第 2 回滑川市スポーツ振興審議会 「滑川市生涯スポーツプラン」(案) に対する パブリック・コメントの反映検討 「滑川市生涯スポーツプラン」の策定について 答申(案) の決定
平成 28 年 3 月 22 日		滑川市スポーツ振興審議会から滑川市教育委員会に 「滑川市生涯スポーツプラン」の策定について答申

滑川市スポーツ振興審議会委員名簿

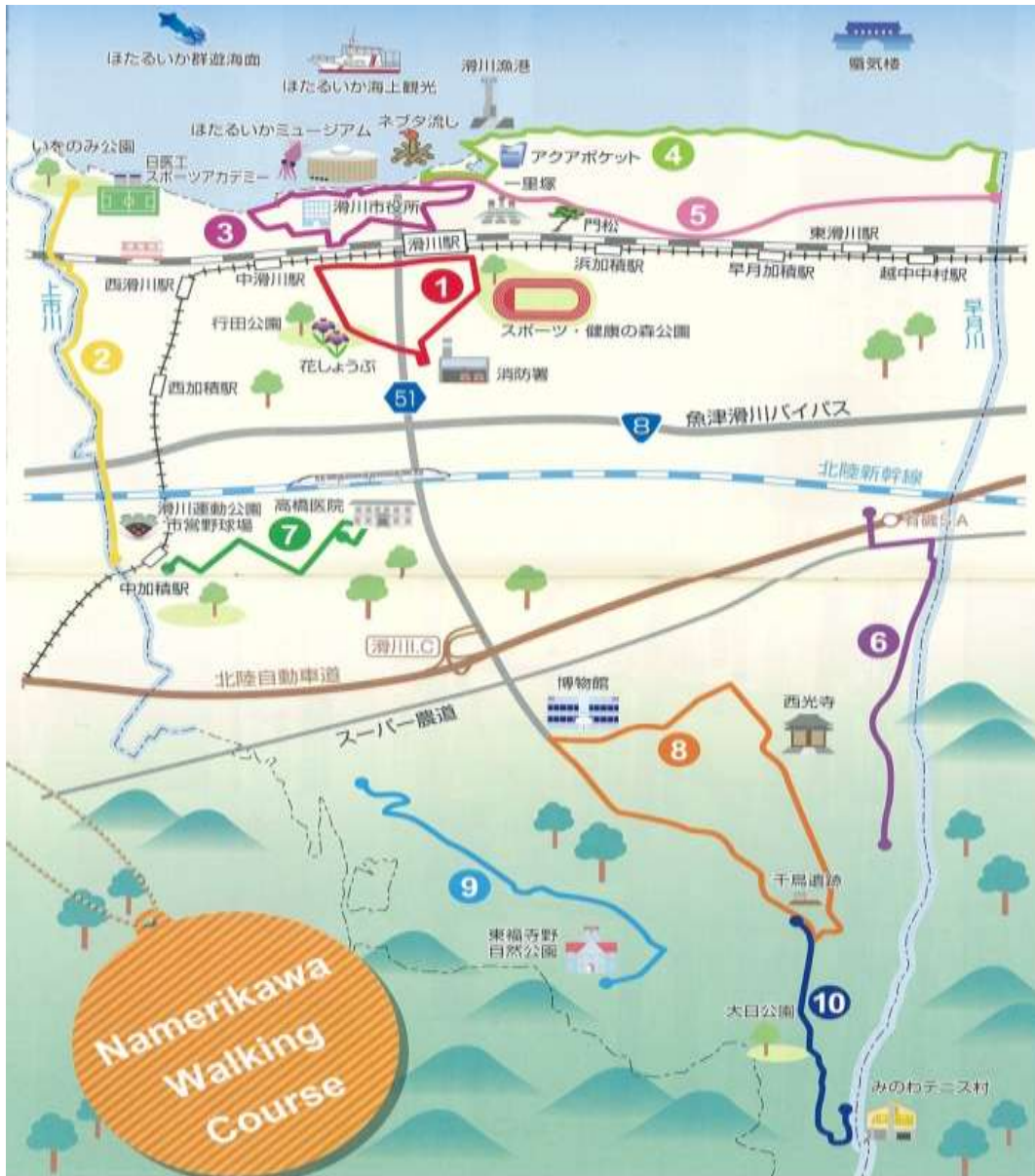
氏 名	役 職
柳 溪 暁 秀	(公財)滑川市体育協会会長
上 田 一 夫	滑川市公民館連絡協議会会長
久 保 元	滑川市中学校体育連盟会長
齊木 壽美男	滑川市スポーツ推進委員協議会会長
八 橋 謙 二	総合型地域スポーツクラブ なめりCANクラブ会長
片 貝 仁 子	学識経験
石 田 順 子	学識経験
金 谷 潤 子	学識経験

(平成25年4月1日～平成27年3月31日)

氏 名	役 職
柳 溪 暁 秀	(公財)滑川市体育協会会長
上 田 一 夫	滑川市公民館連絡協議会会長
坂 口 司	滑川市中学校体育連盟会長
齊木 壽美男	滑川市スポーツ推進委員協議会会長
八 橋 謙 二	総合型地域スポーツクラブ なめりCANクラブ会長
片 貝 仁 子	学識経験
田 中 寿美子	学識経験
徳 田 裕	学識経験

(平成27年4月1日～平成29年3月31日)

「なめりかわウォーキングコース」



- ① ふたつの公園をめぐる散歩道 (約 4.0km)
- ② 上市川リバーサイドつるぎ見コース (約 4.0km)
- ③ 宿場回廊めぐり
- ④ 立山連峰一望海の道 (約 5.0km)
- ⑤ 歴史をたどる旧街道 (約 4.5km)
- ⑥ 戦国ロマンと治水を想う剣道 (約 5.0km)
- ⑦ 映画撮影地をむすぶ田園の道 (約 5.0km)
- ⑧ 滑川市一望丘陵の道 (約 7.0km)
- ⑨ 東福寺野坂の道 (約 3.5km)
- ⑩ 大日・みのわ峠の道 (約 3.0km)



滑川市教育委員会 スポーツ課
 富山県滑川市寺家町104番地
 TEL 076-475-2111
 発行 平成28年4月